

(科目コード : 8705820004KK)

【改訂】第31版(2013-03-18)

【科目】化学・生物英語

【科目分類】専門科目 【選択・必修の別】必修

【学期・単位数】後期・1単位

【対象学科・専攻】物質 4年

【担当教員】大和田 恭子

【授業目標】

科学技術は、高度な進歩・発展を遂げており、その研究成果は、国際学会や学術雑誌などで発表される。この研究発表に使われている言語は、ほとんどの場合、英語である。英語を母国語としない者でも、科学技術にかかわる分野では、英語は必須である。化学や生物の分野での英語の基礎的な利用法について学ぶとともに、その英語に慣れることを目指す。

【教育方針・授業概要】

本科目の総授業時間数は22.5時間である。

授業計画を参照のこと。

【教科書・教材・参考書等】

教科書：科学英語のセンスを磨く：鈴木 英次：化学同人

【成績評価方法】

[後期]中間試験：35%，期末試験：35%，レポート：30%，レポートには、小テストなどを含む。

【達成目標】

	達成目標	割合	評価方法
1	語句の用法	50 %	試験およびレポートによる。
2	語句の表現	50 %	試験およびレポートによる。

【本校の学習・教育目標】

(E-3) 英語の基礎的な文章を理解し、また英語で簡単な内容を伝えることができる

【授業計画】(化学・生物英語)

回数	授業の主題	内容	レポート	宿題
第1回	英文和訳(1)	化学・生物英文の和訳		
第2回	英文和訳(2)	化学・生物英文の和訳		
第3回	助動詞	可能性、能力、そのほかの使い方		
第4回	副詞・副詞句(1)	可能性を表す副詞・副詞句		
第5回	副詞・副詞句(2)	そのほかの可能性の表現 接続副詞の位置		
第6回	副詞・副詞句(3)	文修副詞の位置 形容詞を修飾する副詞 動詞を修飾する副詞		
第7回	副詞・副詞句(4)	動詞を修飾するときの副詞の位置		
第8回	熟語(1)	学問分野に合わせた熟語の使い方(1)		
第9回	熟語(2)	学問分野に合わせた熟語の使い方(2)		
第10回	熟語(3)	複数の意味をもつ熟語の使い分け		
第11回	前置詞(1)	報告・情報・データ・根拠に関する前置詞 研究・調査研究・戦略・方法に関する前置詞 証拠・機構に関する前置詞		
第12回	前置詞(2)	目的と結果を表す to 不定詞の用法 動詞・名詞・形容詞と連係する to		
第13回	前置詞(3)	in の基本的な使い方 「名詞 + in」と「名詞 + of」の表現の違い 「動詞 + from」と「動詞 + by」の用法の違い		
第14回	前置詞(4)	「動詞 + from」と「動詞 + by」の用法の違い by と on が導く副詞句の位置		
第15回	まとめ			